

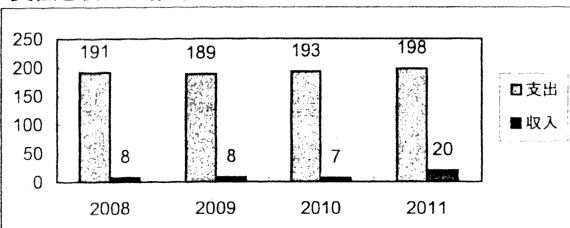
施設概要説明資料

1.対象施設					
名称	まちだ中央公民館				
所在地	町田市原町田6－8－1 町田センタービル6・7・8階			土地	2004.67㎡
建物	地下2階・地上8階建 1770.82 ㎡	構造	鉄骨鉄筋コンクリート	築年数	8年
運営方法	☒ 町田市直営 ☐ 指定管理者制度 ☐ 業務委託 ☐ その他（				

2.施設の目的	
設立時の目的	社会教育法第21条の規定に基づき、市民の実際生活に即する社会教育に関する各種の事業を行い、もって市民の自主的学習、文化活動の振興に寄与するため、町田市公民館を設置する。
現在提供している主なサービス	対象顧客
	生活課題を抱えている方
	課題のある地域に暮らしている方
	教育の向上、情操の純化を必要とする方
	社会教育や自己教育、相互教育が困難な方
	生涯学習の関係機関及び関係団体
サービス内容と提供価値	
生活課題の解決	
地域課題の解決	
人生の充実	
社会参加、教育を受ける機会	
連携や協働の場・情報交換の場	
中期経営計画との関連	重点政策プラン 戦略目標1「市民協働のまちの創造」 ・市民の問題解決のための情報提供及び市民協働の機会の提供を行っている。
関連法令・条例	社会教育法、町田市公民館条例

3.施設の運営・管理にかかる費用と収益

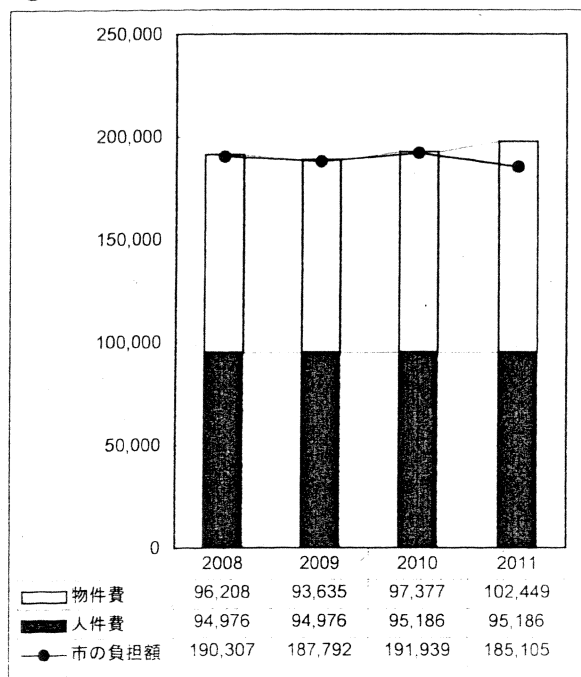
支出と収入の推移(単位:百万円)



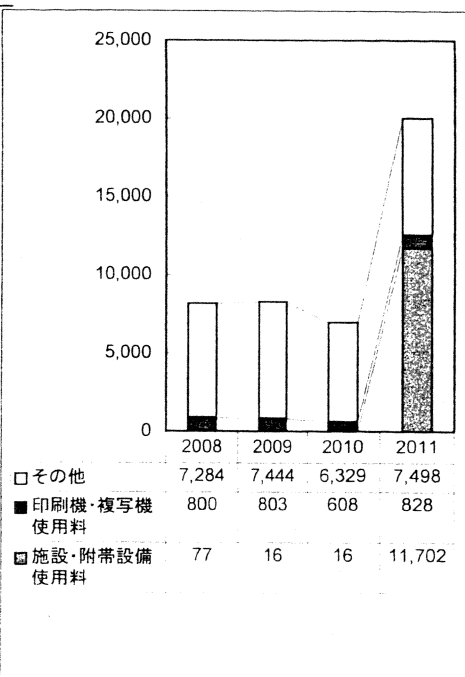
グラフの見方

- ・支出金額は物件費と人件費の合計額。
- ・2011年度収入金額は施設使用料の見込額を計上。

①支出(事業関連経費総額)の内訳(単位:千円)



②収入の内訳(単位:千円)



担当 生涯学習部 公民館 館長 熊田 芳宏

電話 728-0071

施設概要説明資料【補足資料】

1.対象施設

・まちだ中央公民館は、町田市にある唯一の公民館で、JR横浜線町田駅徒歩3分の中心市街地に位置する町田センタービル内にある。同ビルの市が区分所有する6階から8階までが公民館となっており、地下1階から地上5階までは若者に人気の商業施設が入居する複合施設となっている。年間利用者数は約17万人。
 ・町田市公民館運営審議会は、15人の委員で構成され、内11人が市民公募による委員である。毎月1回、公民館事業について調査・審議している。
 ・障がい者青年学級では、約180人の障がいを持つ学級生が活動を行っているが、80人近いスタッフが参加してその活動を支援している。

2.施設の目的

・まちだ中央公民館は、社会教育法に基づく社会教育施設であり、実際の生活に役立つ各種の講座、講演会を実施することにより、市民の教養、健康、文化や社会福祉を高めていくことを設置目的としている。
 ・公民館で現在提供している主なサービスは講座・講演会であり、生活課題などをテーマに取り上げ、講師を交えた話し合いを中心とし、主に学習のきっかけ作りとして開催している。また、講座終了後、自主グループを立上げ、学習を継続していくことができるように進めており、さらに学んだことを地域へ還元することも大切なことと考えている。
 ・公民館講座・講演会を開催するほか、市民団体の学習の場として17室(ホール及び諸室)を貸し出している。利用率は約88%になっている。

3.施設の運営・管理にかかる費用と収益

物件費内訳

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度(予算)
光熱水費	16,315 千円	14,971 千円	15,495 千円	15,276 千円
施設貸出・管理業務委託	10,549 千円	10,515 千円	10,058 千円	11,847 千円
管理業務委託	42,372 千円			
ビル総合管理負担金		42,372 千円	40,208 千円	40,208 千円
工事・修理等	1,060 千円	1,275 千円	6,145 千円	8,992 千円
その他	25,912 千円	24,502 千円	25,471 千円	26,126 千円

職員数内訳

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
職員数	11 人	10 人	10 人	10 人
再任用職員数	0 人	1 人	1 人	1 人
嘱託職員数	1 人	1 人	1 人	3 人

施設使用料内訳

貸出施設	床面積	定員	午前 (3.5 時間)	午後 (4 時間)	夜間 (4 時間)	全日
ホール	396.48 m ²	158 人	3,400 円	3,900 円	3,900 円	11,200 円
学習室1	38.89 m ²	21 人	700 円	900 円	900 円	2,500 円
和室1	45.68 m ²	45 人	900 円	1,000 円	1,000 円	2,900 円
音楽室1	42.01 m ²	24 人	800 円	900 円	900 円	2,600 円
調理実習室	77.71 m ²	37 人	1,500 円	1,700 円	1,700 円	4,900 円
美術工芸室	55.51 m ²	30 人	1,100 円	1,200 円	1,200 円	3,500 円
視聴覚室	69.01 m ²	36 人	1,300 円	1,500 円	1,500 円	4,300 円

附帯設備使用料内訳

	使用単位	使用料
グランドピアノ	1 台1 回	1,500 円
反響板一式	1 式1 回	1,500 円
ロールバックチェアー式	1 式1 回	3,000 円

※ 2011年8月より
施設及び附帯設備使用料を有料化する。

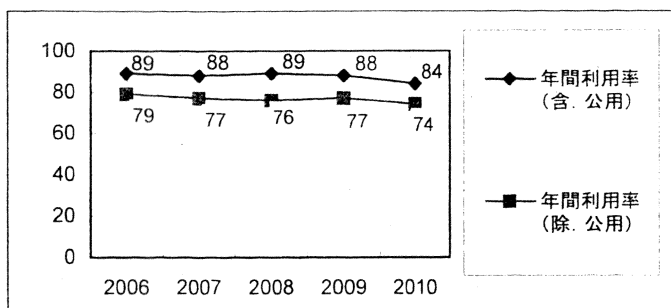
担当 生涯学習部 公民館 館長 熊田 芳宏

電話 728-0071

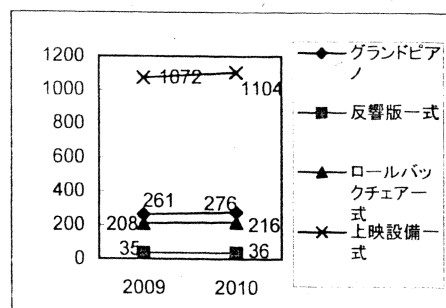
施設概要説明資料

4. 利用状況の推移

【E】施設の利用率(回数)(利用人数)



【F】付帯設備の利用率(回数)



利用者の特徴: 高齢者の利用が多く、公民館周辺の市民フォーラムや他の市民センターと併用している。利用内容はダンス・音楽など趣味のサークルが多い。

5. 実施した改善(2008年度から2010年度までの3年間を対象期間とする)

改善ニーズと把握方法	改善ニーズ: 多くの方が利用しやすい公民館の実現。 把握方法: 公民館利用者の年齢層の多様化、活動の多様化。				
改善の内容	施設面		運営面		
	快適な学習環境の維持のため空調工事を実施		若年層向けの講座、イベントの実施 市民による企画を事業に反映		
活動の成果	成果指標	2008年	2009年	2010年	2011年目標
	若年層向けの講座・イベントの実施	3件	5件	3件実施 3件中止	7件実施予定
	障がい者青年学級の新入生の受け入れ	受け入れせず	受け入れせず	14名	12名予定
	とびき大学(60歳以上対象)の実施	10コース	10コース	10コース	11コース

6. 今後の方向性

2016年に 目指す姿		生涯学習に関する情報提供や学習相談を一元的に取り扱う施設				
予測 根拠	利用者の 動向	☒ 増加する ☐ 減少する ☐ 変わらない	市民の生活課題が多様化し、専門的になる中で、今後も市民の 学習機会は増加すると考えられる。			
	代替手段	☐ 代替施設・サービスあり ☒ 代替施設・サービスなし	カルチャーセンター等の市民が個人で学習する場はあるが、組織的 な教育活動が展開できる場は公民館以外にない。			
	市民ニーズ の動向	☒ 増加する ☐ 減少する ☐ 変わらない	インターネットが急速に普及し、人間関係が希薄化する中、生活 課題の解決のため、組織的に学習する場は貴重になっていくと考え られる。			
課 題		幅広い見識と専門性を持つ職員の確保				
改善・解決の 方法		2012年に現まちだ中央公民館に生涯学習に関する情報提供や学習相談を一元的に取り扱う施設として、生涯学習センターを設置する。生涯学習センターが各種の専門的機関と連携することで、多様化し専門的な学習ニーズに対応できるようにする。				
7.他自治体比較						
自治体・団体		相模原市	狛江市	多摩市	八王子市	稲城市
比較 指標	館数	32	2	2	3（生涯学習センター）	5
	稼働率 ホール・ホール以外	84.75%・65.90%		78.30%・66.20%	67.5%・51.4%	66%・61%
	利用料	無料	有料	有料	有料	無料
比較コメント		集会・学習施設を様々な施設形態（公民館・地域センター・生涯学習センター等）で展開しており、使用料についても有料・無料様々である。				
担当		生涯学習部 公民館 館長 熊田 芳宏			電話	728-0071

施設概要説明資料【補足資料】

4.利用状況の推移

・JR・小田急町田駅に近く、使用料金も無料のため、利用率が高い。
 ・2011年3月の東日本大震災のため休館日が多く(計画停電中18日間)、2010年度は利用率が低下した。
 ・サークル・団体への施設貸出しは、ホール及び諸室の合計17室について行っており、公民館の講座などが入っているところを除き、2ヶ月前の1日から8日が抽選申込み期間、その後は空き予約期間となる。
 ・公民館には講座・講演会の充実を図ることが求められている。公民館主催または共催事業は、施設全体の年間利用(実施)率に占める割合としては毎年10%強である。ただし、主な会場としているホール、学習室1・2、視聴覚室に限定すると、20%前後を実施している。

2009年度 利用目的別一般登録団体利用率

利用目的	ホール	学習室1・2	視聴覚室
会議・講習等	4%	59%	55%
音楽(歌)	23%		10%
社交ダンス等	26%		
その他のダンス・舞踊	17%		
軽体操	16%	7%	

5.実施した改善(2008年度から2010年度までの3年間を対象期間とする)

【若年層向けイベントの開催】夏休みこどもフェア、春休み子どもフェスティバル、ファッションショー「まちコレ」
 【市民との協働事業の開催】市民企画講座、市民共催講座、公民館自主学級
 【障がい者青年学級の改善】ボランティアスタッフの減少により、2008年、2009年に新入生の受入れができなかったが、2010年度からは大学などへの働きかけによりスタッフが増え、受け入れが可能になった。
 【ことぶき大学の充実】音楽コース、歴史コース、文学コース等を実施。
 【共催事業の実施】行政各部署(福祉総務課、高齢者福祉課、防災課、住宅課、国際版画美術館、博物館、健康課、子どもセンター他)、裁判所、大学、商工会議所、民間企業、市民団体などと共催し、各種講座・講演会を実施。2010年度からシルバー人材センター会員を講師に講座(まちだの達人)開催、市民が持つ知識・経験を地域に還元できるようにする仕組みを構築中。
 【施設改善】空調機の修繕、保育室内カーテン・お尻洗い設置、ホール・視聴覚室内プロジェクター等機器修理、各室ブラインド修理、椅子座面・背面張り替えを実施。快適な環境を維持、又は使いやすいものに変更。

6.今後の方向性

【生涯学習センターの設置】

次の4点を強化するため、生涯学習センターを設置する。

1. 町田市が市民に提供している生涯学習の機会・場について、整理・体系化を行い実施計画を策定するとともに、策定された実施計画に基づき年次計画を策定し、講座・講演会等の事業を実施する。
2. 市民のニーズに合った学習機会を提供するため、学校教育部や市長部局、大学などの教育機関、市民団体などとの連携・協働を図り、これら関係機関との調整を行う。
3. 生涯学習情報の集約・発信機能を強化することにより、町田市全体や庁外の情報を体系化して提供する。
4. 集約・体系化した情報データベースを活用し、専門的知識を持った職員による、市民の学習相談に対応できる仕組みを構築する。

・講座・講演会等事業内容としては、公民館事業・市民大学事業・さがまちコンソーシアム事業を実施する。

・生涯学習センター運営協議会を設置し、市民ニーズを事業に反映させる。

・現在、毎月第2・第4月曜日と年末年始(12月28日から1月4日まで)の年間合計32日を休館日としているが、2011年8月からは毎月第4月曜日と年末年始(12月29日から1月3日まで)の年間合計18日に減らすことにより、学習機会を増やす。

7.他自治体比較

館数:各市の公民館数(八王子市は生涯学習センター数)

各市の施設使用料比較

	狛江市	多摩市	八王子市	町田市
ホール全日使用料 (定員)	3,000 円 (150 人)	22,600 円 (198 人)	37,800 円 (170 人)	11,200 円 (158 人)
会議室全日使用料 (定員)	1,800 円 (20 人)	1,500 円 (20 人)	4,600 円 (18 人)	2,500 円 (21 人)

担当 生涯学習部 公民館 館長 熊田 芳宏

電話 728-0071